

防犯まちづくり計画策定マニュアルの作成

研究目的

犯罪に対する不安を抱えている社会状況下で、犯罪の機会に着目した状況的犯罪予防に加え、地域のつながりの再構築による持続可能な社会的犯罪予防が求められています。

本研究では、多くの地域で実施している防犯活動を地域のつながりの再構築の視点で、より効果的・地域横断的にかつ持続的に実施できるようにするための支援ツールの開発を目的としています。具体的には、地域の関係団体(町内会・PTA・商店会・市町村・警察など)が連携・協力し、子どもを守る防犯まちづくりを計画的かつ持続的に進めるため、交通安全や環境美化なども視野にいれ、適切な役割分担を促す計画の策定・実行・評価を支援する電子マニュアルを開発するとともに、それらを判りやすく表示した総合ポータルサイトと、地域における具体的な取り組みの情報発信・情報共有を推進する地域ポータルサイトを開発し実際に運用することを目的とします。

研究概要

防犯活動に関する計画策定や活動の実行、評価について、実際に活動を行っている地域を支援しながら、それぞれマニュアルやポータルサイトの作成を行います。

今年度は旭川市近文地区などの具体的なフィールドでの玄関灯の点灯による防犯上の安心感を検証する夜間照明調査を実施した結果、玄関灯の点灯により鉛直面照度の上昇と安心感の増大が確認できました。

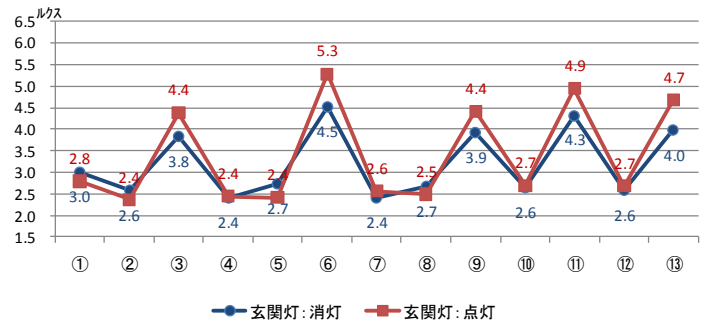


図1 各測定点の鉛直面照度(南側、GL+1500)

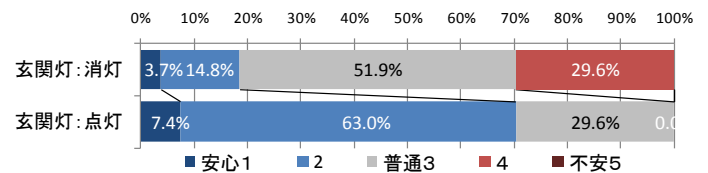


図2 防犯上の安心感評価結果(n=27)



図2 立ち上げたポータルサイト画面
<http://kodomo-anzen.org/>

研究の成果

この研究で作成する支援ツール（計画の策定・実行・評価マニュアルのポータルサイト）は、地域の防犯活動の担い手や活動を支援する中間組織（NPO）などに活用されることにより、地域のつながりの再構築と防犯予防に役立てられることが期待できます。

今年度、具体的なフィールドでの実践的研究により、防犯まちづくりが環境や福祉分野など幅広いまちづくり計画に発展できるような拡張版マニュアル策定を検討しています。

また、具体的な研究成果内容を載せたポータルサイトも立ち上げました。
(<http://kodomo-anzen.org/>)

北方建築総合研究所(担当グループ)
居住科学部居住科学グループ

共同研究機関

・計画策定支援グループ(建築研究所、埼玉大学、岡山大学、(財)都市計画協会、(財)日本開発構想研究所)他